

令和2年度 事業報告

I 公益事業に関わる事業

1. 名張観光まち歩き事業

(1) ボランティアガイドと歩こう企画

ポイントラリーを併せて企画。

月日	名称	場所	参加者数
4月12日	春の勝手神社（黒田）から名張を望む	黒田	ウィルス対策のため中止
5月11日	旧伊賀線跡を歩こう（桔梗が丘～名張）	桔梗が丘	〃 中止
6月8日	ささゆり咲く深野を訪ねて	深野	〃 中止
10月12日	江戸時代の平尾村を歩こう	平尾	42名
11月9日	平家の里・滝之原を巡る	滝之原	45名
12月7日	平尾水路を辿る	上比奈知～	23名



国津神社（11月開催分）



上比奈知国津神社（12月開催分）

(2) 定例会 毎月 第3火曜日 於：名張市民センター

(3) 通年ガイド案内 17件 365名 (R01：17件 709名)

II 観光客誘致促進に関わる事業

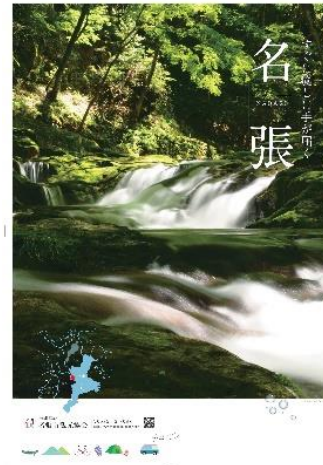
1. 名張市観光情報発信

(1) 観光パンフレット・チラシなど印刷物の制作と配布

- ・名張市や協会員、広域観光団体などと制作協力したパンフレットの設置、配布
- ・三重県と連携「スマホでみえ得キャンペーン」に『みえ旅案内所』として参加協力
- ・近畿日本ツーリスト 近鉄沿線パンフレット(年間2回発行)掲載
- ・YouTubeにて季節のイベントに合わせ動画配信 など



名張市観光協会 Youtube チャンネル



名張市観光 PR ポスター作成

(2) ホームページやSNSでの情報提供、運営管理
(ホームページ ページビュー：アクセス件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13,310	16,926	26,362	20,711	26,294	25,411
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30,904	37,216	13,093	12,125	13,325	13,445

合計（見込） 249,122件（昨年 270,983件） 8.06%減

・R3.3月よりSSL化

(Twitter)

フォロワー数 3,370人 (R3.3.23現在) トータルツイート件数 17,368件
一日平均 4.35件を発信 (観光情報、会員店紹介などのタイムリーな情報で)

(Instagram)

フォロワー数 1,182人 (R3.3.23現在)

(Facebook)

フォロワー数 766人 (R3.3.23現在)

(3) なばり観光応援キャッシュバックキャンペーン

名張市は、新型コロナウイルスの感染拡大により低迷している観光産業の経済回復を目的として、観光関連施設等での消費拡大を喚起する市民向けの補助事業を実施した。名張市より委託を受け、webでのキャンペーン周知や概要案内、SNS投稿のサポート窓口を担当した。



キャンペーンを利用し市内観光を周遊された方々のSNS投稿写真例

(4) 観光キャンペーンの開催及び参画

6月26日	「三重県再発見の旅」県内観光セクションPR(名阪関ドライブイン)
7月8日	東大和西三重キャンペーン (近鉄上本町駅構内)
7月15日	〃 (近鉄京都駅構内)

2. メディアへの取材協力及び情報提供

- ・通年対応 旬の観光情報、及び写真データなどの提供
ラジオ、テレビ番組等メディアへの取材対応
新聞、雑誌等へのパブリシティ掲載 など
- ・毎週金曜日 FMなばり 観光コーナー「Evening Station 83.5」(14:20~14:40)

3. 観光旅行商品の開発と販売促進

- ・ 関西を中心とした旅行会社、メディアへの営業活動 … 県関西事務局と連携
- ・ 近鉄の観光・宣伝部との連携から、ハイキング客を誘致
- ・ 観光商品「なばりのお菓子屋さんめぐり」を開発、3/20より販売開始



「和菓子食べ歩きプラス」をリニューアル。ドライブでも散策でもお立ち寄りいただけるよう市内全域を対象エリアとした。webからの情報提供に力点を置いた。

・パンフレット	5,000部
・専用コイン二銭銅貨	1,000枚
・特製ご祝儀袋	1,000枚
・ご参拝記念カード	1,500部

4. 動画撮影とその発信、及び編集保存

「なばりの情景撮影業務委託事業」として季節ごとの風景や祭り、イベントなどをドローン映像を交えて撮影し、ホームページやYouTubeで発信した。ビジュアル的に伝えることで「名張へ来たい。」という思いを一層かり立てることとした。

また、アーカイブスとしての価値もあり、メディア取材や市などへの画像提供機会に対応していることから今後も継続していきたい。

[アップ例]

青蓮寺いちご狩ぶどう狩



なばりでお菓子屋さんめぐり



Ⅲ 観光客の受け入れに関わる事業

1. 観光地づくりに関わる事業

(1) 赤目四十八滝を基幹とするエコツーリズム事業を情報発信により支援し推奨

「忍者の森」における忍者修行体験、長坂山トレッキングコースの紹介、令和2年度よりリニューアルした赤目四十八滝ライトアップイベント「幽玄の竹灯」に関わる協力、滝まいりなどのイベント紹介 など

(2) 名張地区（旧町）を中心としたまち歩き事業からエリアを拡大

これまで歴史的史跡や昔ながらの風景、グルメなどを巡る旧町を中心とした「まち歩き」を観光資源として旅行商品化し紹介してきた。しかし、ボランティアガイド事業における案内スポットの多様化や行動範囲が広いドライブ客を対象とした「お菓子屋さんめぐり」を開発したことなどにより、旧町だけでなく市内全域にまち歩き事業の対象エリアを拡大し、地域の活性化に貢献していくこととした。

2. 名張の素材を使った販売事業

- ・ ふるさと納税の返礼品の商品開発とその受注事務において納税者に向け観光誘致をPR
- ・ 伊賀流忍者ロゴ入りTシャツ・ポロシャツ等の製作販売、ひやわんグッズなどの委託販売
- ・ 名張の和菓子の詰合せ「やしんぼセット」の受注、販売から発送業務
- ・ 木津川ダム総合管理所の協力で青蓮寺ダムと比奈知ダムのポストカードを作成し、販売

3. 観光イベント、地域イベントの支援と協力

名張市内で開催される祭やイベントへの参加と、情報提供による協力・支援を行った。

4月4日	名張桜まつり（中止）
4月19日	宇流富志禰神社春季例大祭（神事のみ）
6月9～10日	やなせ祭り（中止）
6月28～30日	宇流富志禰神社茅の輪くぐり
7月23日	名張川納涼花火大会サプライズ花火
10月24日	幽玄の竹灯 点灯式
10月24～25日	名張秋まつり（神事のみ）
2月7～8日	八日戎（神事のみ）
2月11日	松明調進 桧の切出し
3月12日以降	松明調進 東大寺へ（調進参加者募集業務は、一般参加者の募集をしない決定をしたため中止）

4. 名張かわまちづくり推進委員会の状況

国土交通省が黒田地区で引き提事業と一体化して実施する「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」の施工に伴い協会内に「名張かわまちづくり推進委員会」を設置したが、名張商工会議所との連携の中で推進することが望ましいとして、同所開催の先進地視察は同行したものの対応策を模索中で休止状態にある。

5. 女性グループ「ばりめっこ」による、名張駅前へのイルミネーション設置

点灯期間：令和2年12月9日

～令和3年2月28日

17:30～22:00

会場：市営名張駅西駐車場周辺

協会内女性部会「ばりめっこ」が、おもてなし事業の一環と駅周辺の活性化を目的とした「なばり嬉来てピリオド」を開催した。同時に駅周辺の飲食店の支援にも取り組んだがコロナ禍の影響が大きく思う結果とはならなかった。今後も、この企画の継続とともに一年を通じて提供できる女性目線でのアイデアにより観光事業に寄与したい。



IV 会員事業と協会運営に関わる事業

1. 情報収集力、提供力の向上と案内所機能の充実

お客様の多様なニーズに応えるため、会員のスポット情報や提供グルメなどをタイムリーに情報提供が行えるインフォメーション体制を整備した。

- ・ 事務局 名張産業振興センター「アスピア」
- ・ 駅前案内所 近鉄名張駅西口

令和2年度実績 窓口対応 1223人 (前年比 67.1%減)

電話対応 558件 (前年比 80.6%減)

- ・ 青蓮寺湖ぶどう組合への事務職員派遣による連携
- ・ 日本サンショウウオセンター、赤目ビジターセンターとの発信業務連携

2. 会員が協会ホームページから自ら行うおすすめ情報の提供

協会ホームページのアカウント情報を会員に提供することで、新鮮な情報をタイムリーにアップしてもらえる仕組みを導入しているので、引き続き積極的にご利用いただきたい。

3. 観光施設、観光案内、事業委託業務

(1) 委託業務、事務局運営、管理業務

- 〔名張市〕
 - ・ インフォメーション事業委託
 - ・ 観光客誘致事業委託
 - ・ 名張駅前（西口）公衆便所管理業務委託
 - ・ 名張市観光消費喚起緊急対策事業業務委託
 - ・ ふるさと納税の受注、発注業務委託
- 〔青蓮寺湖ぶどう組合〕
 - ・ 青蓮寺湖ぶどう組合業務管理
- 〔事務受託〕
 - ・ 名張川納涼花火大会
 - ・ 春を呼ぶ会



(2) 活動支援

観光ボランティアガイド「おきつも」の活動を事務的に支援

4. 会員数の状況

正会員 138 団体（特別会員含む） 賛助会員 4 名 （R3. 3. 23 現在）

5. 協会運営ビジョンの実施

協会が社団法人として観光事業において機能できる体制を整えるため策定された運営ビジョンを実施し、地域で果たすべき役割を果たし安定した協会運営を目指してきた。

しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、観光事業にとって大きな痛手となる状況となった。三重県、及び名張市と連携した事業を展開したが、引続きこの状況に対応していく事業体制を整えていくことになるかと推測している。

また、名張かわまちづくり推進委員会の協議の進捗を見据えながら今後の観光事業の推進を目的とするビジョン策定を行うこととしたい。